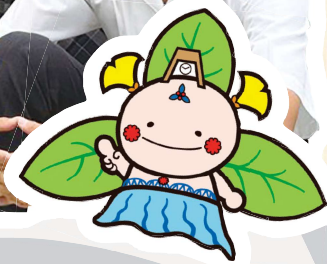
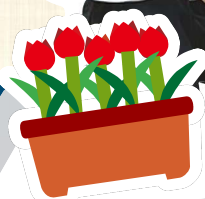


School Guide 2025

Let's make our dreams come true
at Johnouchi!



A B C
1 2 3



徳島県立城ノ内中等教育学校

スクール・ミッション

県内唯一の中等教育学校として、「6年間」を見通したカリキュラムのもと、「先取り学習」や「国内外の中高一貫教育校との交流」、中高の切れ目のない部活動などを通して、社会が抱える諸課題を解決できる力を育成します。

※スクール・ミッションとは徳島県教育委員会が示した本校が期待される社会的役割やめざすべき学校像のことです。

教育方針

高い志をもって 社会の平和と発展に 貢献できる人材の育成

— 豊かな人間性、国際性、創造性を育む中高一貫教育 —

めざす生徒像

人間性

社会貢献の自覚をもち、
仲間と共に学び合い、向上していく
人間性豊かな生徒



国際性

多様な文化・価値観を尊重し、
自己の考えや意思を表現できる
国際性豊かな生徒

創造性

科学技術に関心をもち、
主体的に考え、
追究することができる
創造性豊かな生徒

Let's make our dreams come true at Johnouchi !! (城ノ内で夢をかなえよう)

めざす学校像

- 世界に通じるグローバル人材の育成
- 進学面において本県中等教育を牽引する学校づくり

その実現のため、私たちは次の5つを学校の特色としています。

- 学力向上はもとより、県内全域から集まる仲間と共に、多彩な学校行事や部活動等を通し、豊かな人間性、国際性、創造性を育てます。
- 難関大学をはじめ、希望する進路に適した教育課程の編成や、将来を考える「未来を拓く講演会」の開催など、一人一人の夢の実現をサポートします。
- うっちな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験活動や課題研究、エシカル消費等に取り組み、協働の精神と社会に貢献する意欲や態度を育てます。
- 海外語学研修や国内外の中高一貫教育校との交流を通して、高いコミュニケーション能力をもち、グローバル社会に対応できる人材を育てます。
- 学びの原点となる好奇心を大切にし、「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」のプレゼン発表会の実施や全国規模のコンクール等にチャレンジすることで、探究心と科学的な思考力・表現力を育てます。

「学力分野のリーディングハイスクール」指定校

◆ 週33時間（前期課程）・週35時間（後期課程）授業

◆ 先取り学習

授業時間の増加により、高度化した教育内容に余裕をもって対応することができ、学習内容の理解・定着が向上します。また、前期課程3年生からは、後期課程の学習内容を一部先取りして、授業を行います。

DX（デジタルトランスフォーメーション）ハイスクール指定校

◆ 城ノ内Lab

本校は令和6年度、文部科学省よりDXハイスクールに指定されました。地域におけるデジタル人材育成拠点としての役割を果たすことを目指し、ハイスペックPCや3Dプリンタなどの最先端ICT機器を設置した城ノ内Labを開設します。1人1台端末やこれらの機器を最大限に活用し、生徒の「やってみたい」を形にできるクリエイティブな環境を整備します。授業や課題研究等において、プログラミングやデータ分析に取り組むことでデジタル分野におけるトップランナーの育成を目指します。



豊かな人間性



1・2年
[基礎期]

自己を知り、
他者を知ることを通して、
寛容さや思いやりをもつとともに、
自律した態度を身につける。

3・4年
[充実期]

○ 興味・関心を 高める体験

城ノ内では、夏季休業中に「うっちーな体験塾」を実施しています。普段の授業では学べない、教科の枠を超えた体験を通して、さまざまな分野への興味・関心を高めていくことを目的としています。毎年、アイデアにあふれた講座を開設しています。



● play!watch!enjoy! 卓球



● 化石について学ぼう！



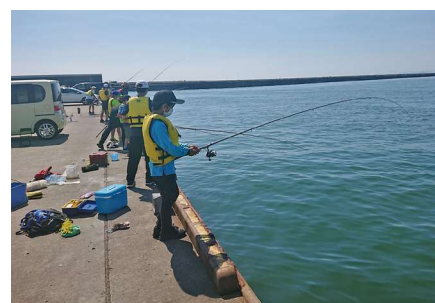
● 楽しもう！ものづくり
「あなたのためのおべんとう」



● 植物について知ろう



● 藍の不思議と藍染め体験



● 徳島の釣り入門
「サビキ釣りでアジを釣ろう」

○ 地域の活動

避難訓練やボランティア活動などの様々な活動を通して、地域の方々や他校の生徒と関わる機会がたくさんあります。



● 地域と連携した避難訓練



● ボランティア(子ども食堂)



● ひのみね支援学校との交流

社会貢献への自覚をもち、仲間と共に学び合い、向上していく

社会の発展に貢献しようとする高い志をもち、自分の夢を追いかける。
仲間を大切にし、切磋琢磨する。城ノ内はそのような生徒を育てたいと考えています。
そのためにさまざまな体験活動や平和学習などを通して、豊かな人間性を育てます。
また、ボランティア活動などを通して社会奉仕の精神や社会貢献への自覚を高めます。

他者との関わりの中で
互いを受容する力をつけ、
向上心をもって自らの使命や
社会での役割について考える。

5・6年 [発展期]

それぞれの興味・関心や特性を
社会との繋がりの中で生かし、
誠実さや感謝の心を
社会への貢献にかえる。

○ 学年・課程を 越えた学び

6年間の円滑な接続を図るため、学習面だけでなく学校行事や部活動等においても、学年や課程を越えた交流を積極的に行い、教員も6年間継続して生徒を見守っています。



● うっちーな体験塾



● フェンシング部練習風景



● 音楽部定期演奏会



● 体育祭



● 後期生から学ぼう

○ 絆を深める 体験活動

城ノ内では、学校の授業では味わえない学びや経験を通して、学年・ホームルームの絆を深めることを目指しています。自分たちで計画を立ててレクリエーションを行ったり、学びを校内で発表したりと、友達と協力して主体的に学ぶことができます。城ノ内生のかけがえのない思い出づくりの場でもあります。



● 1年生宿泊研修



● 3年生スキー研修



● 5年生修学旅行



● 2年生平和研修



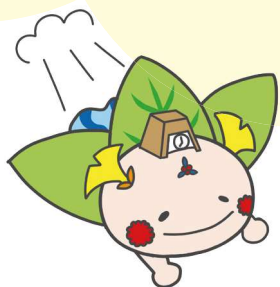
● 4年生イングリッシュ・ツアー(県内)



● 6年生クラス体験活動



豊かな国際性



1・2年
[基礎期]

郷土を愛し、
ふるさとを知ることを基礎にして、
多様性を尊重する態度を
身につける。

3・4年
[充実期]

○ 独自科目 「グローバルイングリッシュ」

グローバルな視点から異文化を受け入れ、英語の時間に習得した知識・技能を活用し、スピーチやディベートなど、主に「書くこと」や「話すこと（やり取り・発表）」における、より高度で実践的なコミュニケーション能力を伸ばす教育を展開しています。



○ CALLシステム

CALL (Computer Assisted Language Learning = 語学学習支援システム) を導入しています。

生徒一人一人の力に合わせた個別最適な学びを実現しています。



○ 地域を知る

ふるさと徳島の歴史・文化を学び、その魅力を発信することで、郷土愛を深める学習を行っています。学びの成果のプレゼンテーションを行うことで、主体的に発信するための表現力を養います。



●ふるさと徳島再発見



●徳島創生プロジェクト

○ 即興型英語ディベート活動



(東京大学本郷キャンパスにて)

●PDA高校生即興型英語ディベート全国大会



●活動風景

本県初の本格的な「即興型英語ディベート活動」を実施しています。オンラインを活用し、他県の学校との練習試合を行いながら、各種全国大会、世界大会（アジア諸国）に出場しています。全国大会での優勝と世界大会上位入賞を目標に、後期課程の3年間を中心に、継続したトレーニングを積み重ねています。

多様な文化・価値観を尊重し、自己の考えや意思を表現できる

城ノ内では世界に通じるグローバルな視点をもった地域創生を担うグローバル人材の育成を目指し、様々な教育を行っています。

今後、グローバル社会で活躍できる人材を育成することはもちろん、多様な人々が共生できる地域づくりや地域の魅力を県外、海外に発信することが重要となります。多様な文化・価値観に触れることのできる本校での魅力ある取り組みを通し、地域の魅力を主体的に発信していくことのできるグローバルリーダーとしての資質を育成します。

多様な価値観と
公平な目をもって世界を俯瞰し、
正しく自らの意見を
発信する力をつける。

5・6年
[発展期]

地球全体に目を向け、
価値観の対立を克服し、
より良い社会の実現のために
責任ある行動をとる。

○ 海外語学研修

前期課程の希望者対象にグアムでの約1週間の語学研修、後期課程の希望者対象にオーストラリアでの約2週間の語学研修を予定しています。

豊かな自然に恵まれた場所で、親切なホストファミリーや現地の人々と交流し、充実した時間を過ごし、異文化を学び、実践的英語コミュニケーション能力を伸ばすことができます。



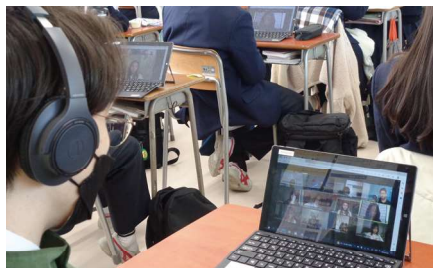
(参考：これまでの海外語学研修の様子)

○ 幅広い国際交流

城ノ内では校内外の活動において、世界の様々な地域の人々と交流を深めています。世界の様々な学校とのオンライン交流、また海外留学生の受け入れなど、幅広く国際交流に力を入れています。様々な国の歴史や文化を学び、多様な価値観を尊重しながら、実践的コミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。

【過去の実績】

- ヴィルヘルム・ラーベ中等教育学校への訪問（ドイツ）
- ドイツ・ニーダーザクセン州国際青年会議への参加（ドイツ）
- 留学生の受け入れ（フィリピン、フランス）
- JEYNESIS 日韓高校生交流プログラム（韓国）
- グローバルクラスルームへの参加（アメリカ合衆国）
- 世界の様々な高校とのオンライン交流（ブルガリア・アメリカ合衆国）





豊かな創造性



1・2年
[基礎期]

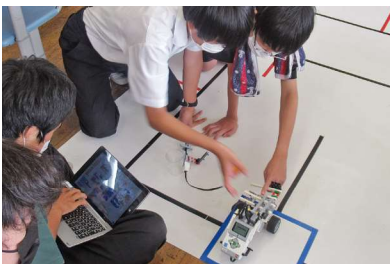
多様な体験から
好奇心を育み、
問題意識と論理的思考力をもって
物事を判断する。

3・4年
[充実期]

○ 豊かな創造力は、ものづくりから Engineering

技術・家庭科におけるアイデアロボットや木工作品の製作、お弁当やアイデアバッグ作り等の「ものづくり」を通して、自分自身で考えたものを創り出し、形にしていく楽しさを実感しています。毎年、創意工夫をこらした作品で全国大会にチャレンジし、さまざまな賞を手にしています。

技術分野



● 自律制御型ロボットトーナメント smart U-15



● 全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト



● レーザーカッターを使った デジタルものづくり

家庭分野



● 全国中学生創造ものづくり教育フェア 「あなたのためのおべんとう」コンクール 女子栄養大学学長賞



● 全国中学生創造ものづくり教育フェア 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール 全国家庭科教育協会会長賞



● とくしまブランドde簡単料理コンテスト 優秀賞

○ 論理的な思考力を育てる

論理的に思考し、表現できるよう、1人1台端末や電子黒板を有効活用した「対話的な学び」を実践し、班活動や調べ学習の発表会などを行っています。また、新聞活用（NIE=Newspaper In Education）も実践しています。



● 1人1台タブレット端末を活用した授業



● 新聞閲覧コーナー

探究心をもち、主体的に考え、追究することができる

本校では、STEAM教育、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（ものづくり）、Art（芸術、リベラルアーツ）、Mathematics（数学）を念頭に今後の社会に順応した競争力のある人材育成を目指します。多様な体験活動や6年間を通じた体系的な探究活動を通して文理融合型の豊かな創造性を育てます。全国大会や各種コンクールなどに積極的に挑戦し、継続的に取り組むことで、着実に力をつけています。

それぞれの興味・関心をもとに
主体的に考える力をもち、
他者と協働する中で、
粘り強く試行錯誤を繰り返す。

5・6年
[発展期]

体験や学びから得た知識を
課題解決へと結びつけ、
新しい価値を社会に発信する
行動を起こす。

○ Technology

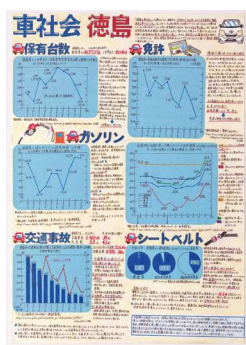


本校では、創造性を形にする手段としてのプログラミングやデータ分析に取り組んでいます。プログラミングでロボットを思いのままに動かすこと、3DCGによるモデリング、学校設定科目「データ分析」の開講など生徒のクリエイティビティを育む環境を整備しています。6年間を通じて1人ひとりがそれぞれの個性を活かした豊かな創造性を育める環境となっています。

○ Science×Mathematics

毎年、各種検定や様々なコンクールにチャレンジしています。近年は科学の甲子園にて、県代表として全国大会にも出場しました。

また、統計グラフコンクールにおいて、徳島県知事賞をはじめ、各賞を受賞することができます。



●統計グラフコンクール



●科学の甲子園

○ 多様な学び・リベラルアーツ

本校では、授業だけでなく、様々な課外活動に積極的に取り組むことで、多様な学びを得ることができています。スポーツ、音楽、アートなどの活動を通して自己表現能力や問題解決能力を育成します。



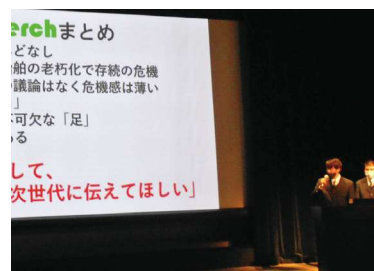
●エシカル甲子園2021
内閣府特命担当大臣賞（第1席）



●合同文化部展



●合唱発表会



●令和4年度鳥居龍藏記念徳島歴史文化
フォーラム全国大会 最優秀賞

6年間の学習スタイル

6年間を2年間ずつ基礎期・充実期・発展期の3期に区分し、それぞれの発達段階に応じて重点の置き方を変え、一貫性のある学習スタイルのもと計画的・継続的な指導を行います。



教育課程の概要

前期課程 (週33時間)			後期課程 (週35時間)		
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
基礎期		充実期		発展期	
○基礎・基本の習得と主体的な学習態度の確立 ○将来を見通す自己理解の推進		○習熟度別少人数授業を取り入れた生徒一人一人に応じた学習の充実 ○自己発見の進展と視野の拡大		○文系・理系コース別による適性や能力の伸長 ○進路に応じた学習の充実	

進路状況

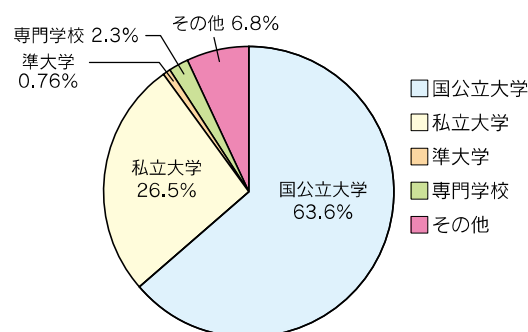
	進 学										就 職			その他
	4年制大学			短期大学			準大学	専門学校	海外の学校	計	公務員	一般企業	計	
卒業生	71	13	35	0	0	0	1	3	0	123	0	0	0	9

合格状況 (過年度生を含む)

※R2より5クラス編制
※R5より4クラス編制

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
東京大学	3		1		
京都大学	1	3	7	4	2
北海道大学	3	4			2
東北大学	1		1	1	
一橋大学		1			
東京工業大学					
名古屋大学	5	4	3	2	1
大阪大学	7	5	1	2	9
神戸大学		4	5	5	5
九州大学	6		1		1
*難関10大学	26	21	19	14	20
広島大学	10	8	4	8	6
岡山大学	8	6	5	5	5
(県内大学)					
徳島大学	49	38	46	22	26
鳴門教育大学	7	5	1	5	1
国公立全体	185	127	122	113	102
国公立大医学科	7	3	7	4	7
*私立大医学科		2	2	4	3
難関10大+医学科計	33	26	28	22	30
防衛医科大学校(医学)				1	
防衛医科大学校(看護)	1	2			
防衛大学校		1	1		1
文科省所管外大学等	1	1			

令和5年度(R6年3月卒)卒業生<132名>の進路



年 度	R1	R2	R3	R4	R5
早稲田大学	8	4	8	4	3
慶應義塾大学	2	2	3		6
上智大学		1			
関西学院大学	10	7	7	21	6
関西大学	9	5	22	22	11
同志社大学	15	14	8	12	10
立命館大学	23	23	34	32	31
(県内大学)					
四国大学	20	26	21	17	9
徳島文理大学	29	19	32	18	7
私立大学全体	283	293	365	309	220

毎日の授業に 真剣勝負

「わかる授業」をめざして、研究授業や授業研究会を実施し、授業力アップを図っています。「学校総合評価」として、生徒が授業を受ける自分の態度をチェックすると同時に、すべての先生の授業を評価します。

習熟度別少人数授業

3年生から英語・数学の授業では「習熟度別少人数授業」を導入し、「わかる授業」の実践を通して意欲を高め、すべての生徒の学力を最大限に伸ばす指導をしっかりと行います。

進路希望をかなえる 充実したガイダンス

学習実態調査、三者面談、学年別PTA、進路講演会、随時実施される個人面談など、いろいろな機会・いろいろな形態で進路に関する疑問を解消し、自分の進路を獲得できるようサポートしていきます。

放課後の 充実した自主学習

早朝や放課後、会議室・図書館・進学資料室を開放しています。図書館には、個人ブースが約40あり、また、ゆったりとした大きな学習机も、たくさん並んでいます。

進学資料室には、大学別の過去入試問題集や大学、短大、専門学校等の学校案内が揃いっぱいにとことろせましと並び、休み時間や放課後などいつでも閲覧できます。



■図書館の個人ブース



■個別指導の様子



■放課後の進学資料室

卒業生が語る城ノ内

(令和6年3月卒業生)

京都大学 工学部 手塚 祐希 15期生 平成30年度入学

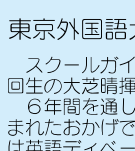


私は、徳島県立城ノ内中等教育学校の一期生として6年間を過ごしました。城ノ内は、自分がしたいことに集中できる環境だと感じます。勉強面では、6年間の先取り学習によって高校までの学習を無理なく良いスピードで進めることができました。そのおかげで高校生の頃には自分の受験対策を十分に行うことができました。進路においても、授業内で自分の興味のある分野や学問について考える時間があり、今は自分の将来が不安な人も城ノ内で夢が見つけれられると思います。困ったときは頼りになる先生方に相談することもできます。城ノ内の先生方は相談事も真剣に聞いてくれますし、勉強に関しても質問しやすい環境だと感じます。また、生活面でも充実していました。様々な部活動や城ノ内祭などの学校行事はいまでも記憶に残っています。6年間を共に過ごすので、一生の友達もきっとできるはずです。中学生になって新しい環境に来ることに不安を感じている人もいるかもしれませんが、周りもそのような気持ちの子ばかりなのですぐに馴染むことができると思います。大切な中学・高校生活をぜひ城ノ内で過ごしてほしいです。



慶應義塾大学 商学部 松元 寧音 15期生 平成30年度入学

私が城ノ内中等教育学校を志望した1番の理由は、高校受験が無く、大学受験に向けて6年間コツコツ勉強しつつ芸能活動にも集中できたからです。実際、中学の頃から先取り学習が出来たことは、私の進路実現において大いに役立ちました。私は芸能事務所でユニット活動をしており、毎週末レッスンやイベントで大阪に通っていました。高校受験で受験休みを取ることなく活動を続けられたこともあり、その忙しさは年々増していきました。今思えば受験生の年が最も忙しかったかもしれません。それでも一般受験を諦めず第1志望校である慶應義塾大学に合格出来たのは、受験生になるまでの5年間での積み上げ学習があったからだと思います。特に、英語や数学は、高校3年生になって急に出来るようになるのは難しいです。なぜなら、きちんと基礎の積み上げが出来ていないと伸びづらい教科であるうえに、地歴や理科などに手が回らなくなってしまうからです。その点、英数に力を入れている城ノ内のカリキュラムでは4、5年生(高校1、2年生)までに英数を仕上げ、受験勉強においてかなり有利に進めることができます。部活も勉強も文武両道で頑張りたい人、進路実現に向けて中学からコツコツ頑張りたい人は、ぜひ城ノ内で充実した6年間を送ってください！



東京外国語大学 国際社会学部英語科北アメリカ専攻1年 大芝 晴揮 15期生 平成30年度入学



スクールガイドを読んでいる生徒の皆さん、そして保護者の皆様こんにちは。私は東京外国語大学国際社会学部英語科に通う1回生の大芝晴揮と申します。つたない文章かと思いますがお付き合い願いたいと思います。

6年間を通して考えても私は勉強が得意で成績優秀な生徒では決してありませんでした。ですが学校環境や先生、人間関係に恵まれたおかげで私は学生時代、特に中学3年生から硬式テニス部と英会話部の二つに所属することができていました。英会話部には英語ディベート活動を行うグループがあり、私はそこに4年間所属していました。もちろん二つとも部活動なので毎月どちらかの部活で試合や大会があるという状況が4年間続きましたが自分なりにスケジュールを調整しながら両方の部活で賞をもらったり大きな大会に出場したりすることができました。

一見難易度の高そうな部活動の掛け持ちや両方の部活で勝ちたいというわがままに付き合ってくれる城ノ内中等教育学校はこれから挑戦し続けていきたい皆さんには理想的な環境です。ぜひ城ノ内ファミリーの一員になって夢に近づきませんか。



神戸大学 医学部 中川 善仁 15期生 平成30年度入学

城ノ内では6年間という長い期間を過ごします。そのため自分のやりたいことに全力で取り組むことができます。また、現在特にやりたいことがない人でも、夢中になれることや、将来の目標を見つけることができます。実際私自身がそうでした。偶然入った弓道部で弓道の面白さに取り憑かれ、6年間全力で打ち込みました。インターハイにも出場することができ、勉強と両立しながら最後までやり切りました。今でもそのことは私の大きな財産であり、自信につながっています。また、進路についても前期生の時から大学入試を見据えた授業や、進路について考える機会が多くあります。私はそこで自分の将来やりたいことを見つけることができました。

また、城ノ内の魅力は勉強と部活だけではなく、全力で楽しめる学校行事が多くありますし、6年間苦楽を共にして得た仲間は今も大切な友人です。このように私は、部活・勉強・私生活のすべてにおいて充実した6年間を過ごすことができました。これらを両立させることは難しく感じるかもしれませんが、城ノ内ならそれができる環境が整っています。ぜひ、城ノ内で一生に一度の青春を過ごしてみませんか。

充実した学校生活

城ノ内生の一年



●4月 対面式



●6月 水泳実習



●6月 修学旅行



●4月 入学式



●4月 宿泊研修



●6月 クラス体験活動

4月

始業式・入学式
対面式
宿泊研修〈淡路島〉(1年生)

5月

授業参観・PTA総会
防災避難訓練
AED講習(1年生)
中間考査
生徒総会

6月

水泳実習(1~3年生)
修学旅行〈東京〉(5年生)
クラス体験活動(6年生)

10月

中間考査
学校公開
防災避難訓練
吉野川堤防清掃

11月

校外体験活動(1年生)
職場体験(2年生)
生徒会役員選挙

12月

期末考査
球技大会
終業式
阿波踊り講座(1~3年生)



●10月 吉野川堤防清掃



●11月 職場体験



●12月 球技大会



●11月 校外体験活動



●11月 職場体験



●12月 阿波踊り講座



●8月 うっちーな体験塾



●9月 体育祭



●9月 平和研修



●7月 ゴルフ研修



●9月 文化祭



●9月 体育祭

7月

期末考査
球技大会
ゴルフ研修(6年生)
終業式

8月

うっちーな体験塾(1~3年生)
オープンキャンパス参加(4~6年生)
海外語学研修
始業式

9月

城ノ内祭
〔前日祭・文化祭〕
体育祭
平和研修〈広島〉(2年生)

城ノ内は
ココ!

本校のイメージキャラクター
うっちーな



1月

始業式
予餞会

2月

人権教育映画会
学年末考査

3月

卒業式(6年生)
スキー研修〈北海道〉(3年生)
課題研究発表会
合唱コンクール(1~3年生)



●3月 卒業式



●3月 スキー研修



●3月 合唱コンクール



●1月 予餞会



●3月 スキー研修



●3月 課題研究発表会

部活動を通じた 仲間づくり

県内から集まった仲間と共に部活動に励み、心身ともにたくましく成長する城ノ内生。1年生から6年生まで合同で練習している部もあり、それぞれのコンクールや大会での活躍がお互いの刺激となっています。



●陸上競技



●剣道



●硬式野球



●軟式野球



●フェンシング



●サッカー

運 動 部

1～3年
前期課程

- 弓道
- 剣道
- サッカー
- テニス
- バスケットボール
- 陸上競技
- 軟式野球
- フェンシング

4～6年
後期課程

- 弓道
- 剣道
- 硬式野球
- サッカー
- テニス
- 登山
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- フェンシング
- 陸上競技



●弓道



●テニス



●バスケットボール



●バレーボール



●登山



●バドミントン

●書道



●百人一首



●演劇

●パソコン



1～3年
前期課程

●囲碁・将棋
●英会話
●演劇
●音楽
●パソコン

●書道
●美術
●技術
●百人一首

●英会話（ディベート）



4～6年
後期課程

●囲碁・将棋
●英会話
●演劇
●音楽
●華道
●茶道
●JRC

●写真
●パソコン
●書道
●美術
●文芸・放送
●レベラース
●百人一首



●英会話

●技術



●美術



●音楽（吹奏楽）

●写真



●囲碁・将棋

●音楽（弦楽）



●文芸・放送



●茶道



●レベラース



●華道

城ノ内が分かる 6つのQ&A

1

中等教育学校とはどういう学校ですか。

本校は、2020年（令和2年）に中等教育学校に移行しました。中等教育学校とは、中学校及び高等学校で行う教育を、一つの学校として6年間で一体的に行う学校のことで、中学校に相当する3年間を「前期課程」、高等学校に相当する3年間を「後期課程」といいます。生徒募集は前期課程のみを行います。城ノ内中等教育学校では、城ノ内中学校・高等学校で培ってきた教育を継承・発展させ、6年間を見据えた教育課程でのきめ細やかな学習指導・教育活動を行っています。



2

「学力分野のリーディングハイスクール事業」での具体的な取組は何ですか。

本校は、2013年（平成25年）に、徳島県教育委員会から「学力分野のリーディングハイスクール事業」の指定を受けました。中高一貫教育校のメリットを最大限に活かして、進学面等において本県中等教育を牽引する学校づくりをめざし、次のような取組を行っています。

- ① 学習時間を充実させるために、前期課程では、週当たりの授業時数を33時間（各学年標準時間+4時間）に増やしています。
- ② 国語・数学・理科・英語については、前期課程3年生から、後期課程の学習内容を一部移行して先取り学習をしています。社会についても、一部発展的な内容を取り入れています。
- ③ グローバル人材の育成をめざし、本校独自科目「グローバルイングリッシュ」を開設し、生きて使える英語学習を行うとともに、CALL（語学学習支援）システムを活用し、英語の4技能をバランスよく学びつつ、英語検定などにも積極的に挑戦しています。

3

「先取り学習」はどのように行うのですか。

国語・数学・理科・英語については、1年生から計画的に通常の進度に先んじて学習を進め、3年生からは後期課程の内容の学習を始めます。特に、一般の高校では、授業時数の確保が課題となっている学校も多いですが、本校では、ゆとりを持って各科目を広く深く学ぶことができます。また、3年生から数学・英語の習熟度別少人数授業も始め、「わかる授業」を行います。



4

進路実現に向けて、どのような指導を行うのですか。

本校は、確かな学力の育成と進路希望の達成に全力で取り組んでいます。前期課程・後期課程の6年間を見通した切れ目のない組織的・計画的な指導のもと、生徒は高い目標を持ち、その実現に必要な学力が身に付くよう切磋琢磨しています。特に、後期課程では、生徒一人一人の希望に応じた進路指導を行っており、具体的には、進路別の授業、小論文及び面接の指導、個別指導の充実など、きめ細やかな指導を展開しています。

5

遠距離通学は可能でしょうか。

可能です。生徒の半数以上は、徳島市外から通学しています。1年生のはじめは慣れないため大変そうですが、次第に体力もつき、通学の隙間時間を読書や勉強時間に活用したりしていますので、遠距離通学によるデメリットも少ないようです。今年度の通学方法としては自転車が約65%、汽車が約24%、バスが約2%となっています。

6

城ノ内中等教育学校の前期課程を修了した後、他の高等学校に進学することはできますか。

本校は、6年間の計画的・継続的な教育を行っていますので、前期課程を修了した後は、後期課程に進級することが原則です。ただし、他県への一家転住など、やむを得ない場合は、他の高等学校に進学することは可能です。他の高等学校への進学を希望した場合は、城ノ内中等教育学校後期課程への進級はできません。

城ノ内生の一日

日課表は次の通りです。8時25分から朝のHR活動が始まります。本校では、想像力や発想力を豊かにしたり、授業への集中力を高めたりするために、8時10分から朝の読書を推奨しています。

令和6年度 日課表 (50分授業)

生徒登校	～ 8 : 10 (推奨)
朝 読 書	8 : 10～ 8 : 25
S H R	8 : 25～ 8 : 30
1 校 時	8 : 35～ 9 : 25
2 校 時	9 : 35～ 10 : 25
3 校 時	10 : 35～ 11 : 25
4 校 時	11 : 35～ 12 : 25
給 食	12 : 25～ 13 : 05
5 校 時	13 : 10～ 14 : 00
6 校 時	14 : 10～ 15 : 00
清 掃	15 : 00～ 15 : 15
7 校 時	15 : 20～ 16 : 10
S H R	16 : 10～ 16 : 20

※前期は月・金は7校時を行いません。

6 校 時	14 : 10～ 15 : 00
清 掃	15 : 00～ 15 : 15
S H R	15 : 15～ 15 : 25

前期課程1年生の1週間 (例)

	月	火	水	木	金
1	英 語	国 語	理 科	社 会 (地 理)	数 学 (代 数)
2	数 学 (代 数)	技 術 家 庭	英 語	理 科	音 楽
3	国 語	技 術 家 庭	体 育	グローバル イングリッシュ (CALL)	社 会 (歴 史)
4	体 育	社 会 (歴 史)	国 語	数 学 (幾 何)	英 語
5	音 美 総 合	理 科	数 学 (代 数)	体 育	国 語
6	総 合	数 学 (幾 何)	社 会 (地 理)	英 語	道 徳
7		グローバル イングリッシュ	美 術	HR活動	
放課後	部活動・委員会活動 等				

※月曜5限目は、週替わりで「音楽」「美術」「総合」を行います。



在校生が語る城ノ内

Mさん (2年生)

城ノ内は学校行事が魅力の学校です。中でも9月上旬に行われる城ノ内祭ではクラスの絆と友情をより一層深めることや学年を越えて先輩方と交流することができます。また、勉強も集中できる環境が整っているので、「頑張ろう」という気持ちが湧いてきます。私は今「城ノ内に来てよかった」と感じる日々を過ごしています。

Iさん (2年生)

城ノ内は中高一貫のため、1～6年生の幅広い学年の先輩方と交流ができます。部活動や城ノ内祭などの学校行事では、同学年はもちろん、他学年の人とも絆を深めることができ、一生の思い出が作れます。県内では数少ない部活動もあり、公私共に笑顔溢れる城ノ内で、私達と一緒に沢山の楽しい思い出を作りましょう！

Nさん (3年生)

城ノ内中等教育学校は前期生と後期生の仲が良く、部活動や学校行事でも笑顔があふれています。また、仲の良い友達と勉強や部活などで切磋琢磨しながら互いに成長することができます。先生方も優しく面白いです。楽しく授業を受けることができます。皆さんも魅力いっぱいの城ノ内LIFEを過ごしてみませんか？

Aさん (3年生)

城ノ内のよさは、とにかく授業が楽しいことです。どの授業も先生の話や内容がおもしろく、いつのまにか授業が終わってしまっている、なんてことがよくあります。また、班活動やタブレットを使った活動など、友達同士で協力するときも多くあり、理解を深められます。皆さんも城ノ内LIFEを全力で楽しみましょう！

令和7年度 徳島県立城ノ内中等教育学校 生徒募集選抜要項

1 募集定員及び出願資格等

- (1) 募集定員 140名
- (2) 出願資格
 - ア 保護者の現住所が徳島県内にあり、令和7年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校前期課程(以下「小学校」という。)を卒業又は修了する見込みの者
 - イ 特別な事情があり、徳島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が出願を許可した者
- (3) 通学区域 県内全域

2 出願

- (1) 受付期間
令和6年12月8日(日)から10日(火)まで
なお、受付時間は午前9時から午後5時までとし、最終日に限り正午までとします。
- (2) 提出書類
出願は、保護者が次の書類等を徳島県立城ノ内中等教育学校長に提出して、直接行うものとし、
※郵送の場合は、書留速達・親展で12月10日(火)正午までに必着です。
ア 入学願書 イ 受検票 ウ 調査書 エ 選抜結果通知用封筒
オ 連絡用封筒(本校のみ必要)
- (3) 提出先
徳島県立城ノ内中等教育学校
〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号
- (4) 受検票の交付
入学願書等を受理した後、直ちに志願者に受検票を交付します。
- (5) 県外からの出願
保護者とともに県内に転住することが明らかである場合など、特別な事情がある者は、出願に先立って、教育委員会の許可(入学志願許可書の交付)を受けなければなりません。

3 検査の実施

- (1) 実施日及び会場
令和7年1月11日(土) 徳島県立城ノ内中等教育学校
- (2) 日程

受 付	8時30分 ~ 9時20分
点 呼 ・ 注 意	9時30分 ~ 9時45分
検 査 I	10時00分 ~ 10時55分 (55分間)
検 査 II	11時25分 ~ 12時15分 (50分間)
面 接	13時15分 ~
- (3) 検査内容及び方法
 - ① 適性検査
自己の考えや意見を表現する力や、課題を発見し、追究し、解決する力など、小学校教育において身に付けた多様な力をみるために、次の検査を行います。

検 査 I	英語の音声から聞き取った内容や情報をもとに、判断して問題の解決を図ったり、資料等から読み取った内容や情報をもとに、自己の考えをまとめ、文章等で表現したりする。
検 査 II	生活に関連する事柄等について、課題を見だし、多様な解決方法を考え、その解決を図る。
 - ② 面接
志願者の目的意識、意欲や長所をみるために、集団面接を行います。

4 選抜の方法

調査書、適性検査の成績及び面接の結果を資料として、志願者の意欲や適性等を総合的に判定し、入学予定者を選抜します。
※地域別に入学者数を決めたり、男女別の定員を定めたりすることはありません。

以上の内容について、詳しくは「令和7年度 徳島県立城ノ内中等教育学校生徒募集選抜要項」をご覧ください。

スクール・ポリシー（本校の教育活動の指針となる3つの方針）

【育成をめざす資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

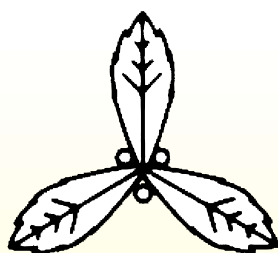
- (1) 社会の発展に貢献しようとする高い志を持つ生徒を育てます。
- (2) 一人一人の個性や可能性を大切にし、自主性や協調性を育てます。
- (3) 学校行事や部活動等を通し、豊かな人間性、国際性、創造性を育てます。
- (4) 仲間を大切にし、切磋琢磨する生徒を育てます。
- (5) 実践的な英語力を身につけ、グローバル社会に対応できる能力を育てます。
- (6) 好奇心を大切にし、探究心と科学的な思考力・表現力を育てます。
- (7) 総合的な学習（探究）の時間等を通し、ふるさとを誇りに思う心を育てます。

【教育課程に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) 前期課程で週33時間、後期課程で週35時間の授業を実施します。
- (2) 先取り学習（国語、数学、理科、英語）を行い、6年間計画的に学びます。
- (3) 『グローバルイングリッシュ』等の学校独自の科目を設定します。
- (4) CALL（語学学習支援）システムを活用した英語の授業を実施します。
- (5) 総合的な学習（探究）の時間では課題研究やエシカル消費等に取り組みます。
- (6) ICTを活用し、確かな学力を身につける授業を展開します。
- (7) うっちーな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験活動を行います。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような児童を待っています〉

- (1) 多様な価値観を尊重し、自分や他人を大切にしようとする児童を募集します。
- (2) 他人と考えを伝え合い、自分や集団を高めようとする児童を募集します。
- (3) 読書やいろいろな体験活動から学び続けようとする児童を募集します。
- (4) 外国語や異文化に関心が高く英語の能力を伸ばそうとする児童を募集します。
- (5) 自然や科学技術に関心を持ち、それを調べようとする児童を募集します。
- (6) 部活動や生徒会活動等に積極的に取り組もうとする児童を募集します。
- (7) コンテストや検定等にチャレンジしようとする児童を募集します。



校章の由来

本校の校章は、県の木やまももをデザインしたものです。

それぞれの葉は、校訓である

「自主」 ・ **「協同」** ・ **「前進」**

そして、3つの実は

知 ・ **徳** ・ **体**

を表しています。



徳島を思い世界に羽ばたく



●お問い合わせ

徳島県立城ノ内中等教育学校

〒770-0003

徳島市北田宮 1 丁目9番30号

TEL : 088-632-3711・3712

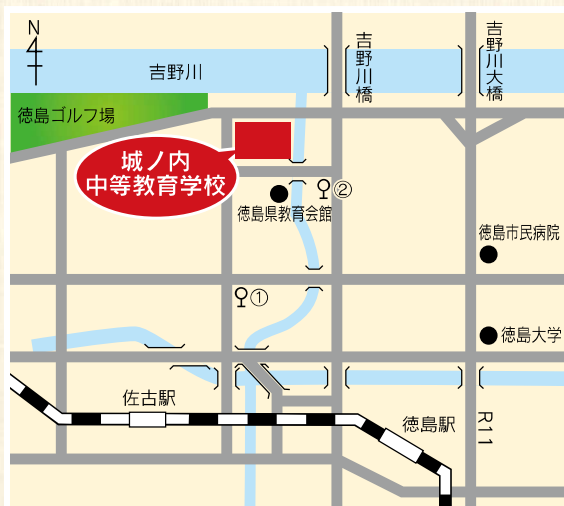
FAX : 088-633-0126

URL :

<https://johnouchi-ss.tokushima-ec.ed.jp>

E-mail :

johnouchi_ss@mt.tokushima-ec.ed.jp



- 最寄りの交通機関
- 徳島市営バス① 東田宮下車 徒歩 10分
 - 徳島バス② 吉野本町6丁目下車 徒歩 10分
 - JR 佐古駅下車 徒歩 20分